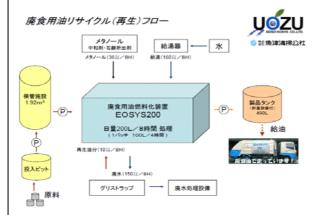
バイオマス利活用施設の概要

作成日: 平成 19年8月31日

作成者:(財)日本システム開発研究所



【施設名称】

BDF製造施設

【事業主体】

株式会社魚津清掃公社

【所在地】

富山県魚津市

【運転開始年】

平成 19年 (2007年)

原材料および利用量	廃食用油 約70kl/年
生産物(種類)	BDF 約60kl/年
利用方法	魚津市内ゴミ収集車、フォークリフト等への自社利用。
導入目的・経緯	新川地区から出される使用済み天ぷら油を回収・リサイクルすること
	により、「廃棄物を地産地消」する
設備仕様	廃食用油燃料化装置 (EOSYS200; 200L / 8h)
稼働状況	
経済性関連データ	補助なし
導入効果	これまで焼却処分してきた天ぷら油を有効活用
	BDF利用により、排ガス中の黒煙は1/3~1/10に、酸性雨の原因
	である硫黄酸化物は1/100以下に減少
運営上の課題	冬期(5 以下)はBDF燃料タンクを暖めるヒーターが必須。軽油に
	比べて頻繁に燃料フィルターの交換が必要。複生成物の粗製グリセリ
	ンの有効活用法を検討する必要
	廃食用油効率的回収にため、さらなる地域との連携の強化
備考・参考資料	・北陸農政局 HP(H18 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取
	組事例)